

[資料 2 - 2]

病床機能轉換計画書

2022年9月
医療法人社団稲仁会
旭川脳神経外科循環器内科病院

はじめに

旭川脳神経外科病院は2015年7月より循環器内科を開設し、2016年4月に旭川脳神経外科循環器内科病院へと病院名を改め、単科病院ではなく、血管治療に重きを置いた急性期病院へと変革を遂げており、5疾病5事業のうち、脳卒中、急性心筋梗塞、救急医療の一翼を担っていると自負しております。

中でも「救急を断らない」をスローガンに、救急受け入れ数は飛躍的に伸びており、救急車受入台数は年間1,300件を越し、救急の外野手としてスタッフ一丸となって積極的に医療活動を行っております。また、医療連携による受入れも枠を拡大し地域の医療連携に協力しております。

入院患者内訳では血管系の救急が多いことから中等度～重症例が多く、日夜を問わず入院が必要な状況です。

このような状況下、整形外科の拡充を実施し、外科（外傷）の救急受入れの実施、外科当番病院の実施などで一層の一次救急医療に取り組んでまいりたいところですが、受入れ病床の不足により実施までには急性期病床の拡充が必要となっています。

サブアキュートを軸にした回復期も拡充したいと考えております。将来的には地域包括ケア病床（回復期）の展開を目指しておりますが、足元の救急患者の受入れ、チーム医療を充実させ地域の救急を守るためにも、一般病床を増やすことを了承いただきたく、ご協議をよろしくお願いいたします。

項目	内容
法人名	医療法人社団稲仁会
病院名	旭川脳神経外科循環器内科病院 (脳神経外科 循環器内科 麻酔科 リハビリテーション科 呼吸器内科 整形外科7/1より)
住所	旭川市10条通21丁目2-11
電話番号	0166-33-2311
理事長	稲葉 芳絵
院長	田之岡 篤
許可病床	120床 (一般42床、療養78床)
稼働病床	急性期一般4 42床
	回復期リハビリ3 40床
	療養病棟入院基本料1 38床

summary

医療法人社団利信会 上村産婦人科医院 上村利彦理事長のご協力もあり、上村産婦人科医院を医療法人稲仁会へ事業譲渡したうえ、一般病床を18床旭川脳神経外科循環器内科病院へ移動（①）。

同時に、旭川脳神経外科循環器内科病院の療養病床の20床を一般病床へ転換（②）させ、2025年まで一般38床を回復期としたい（③）。

①実行時

旭川脳神経外科循環器内科病院 一般60床（急性期） 療養60床（回復期48・療養20）
※療養18床は返還（合計120床）

上村産婦人科医院 一般1床（急性期）

②実行時

旭川脳神経外科循環器内科病院 一般80床（急性期） 療養40床（回復期40）（合計120床）
上村産婦人科医院 一般1床（急性期）

③2025年まで

旭川脳神経外科循環器内科病院 一般80床（急性期42・回復期38） 療養40床（回復期40）（合計120床）
上村産婦人科医院 一般1床（急性期）

	病床基準	病床数	2021/11	2021/12	2022/1	～	2025/4
医療法人社団稲仁会 旭川脳神経外科循環器内科病院	急性期	42	42	80	80		42
	回復期リハ	40	40	40	40		40
	療養	38	38	—	—		—
	地域包括ケア	—	—	—	—		38
医療法人社団利信会 上村産科婦人科医院	急性期	19	19	1	1		1
				医療法人社団稲仁会へ事業譲渡			

病床稼働推移

新型コロナウイルス蔓延の影響により市中の急性期病院は病床が埋まる状況となる中、当院の急性期病床では「アフターコロナの受入れ」「バックベッドとしての機能」「救急車の受入れ」などによりオーバーベッドの状態が続いた。しかしながら、平均患者の増加に伴い診療報酬施設基準における看護基準が満たせなくなったため徐々に受入れは緩和した（2022年4月より解消）。

現在の病床数

	急性期	回復期	慢性期
現状	42床	40床	38床

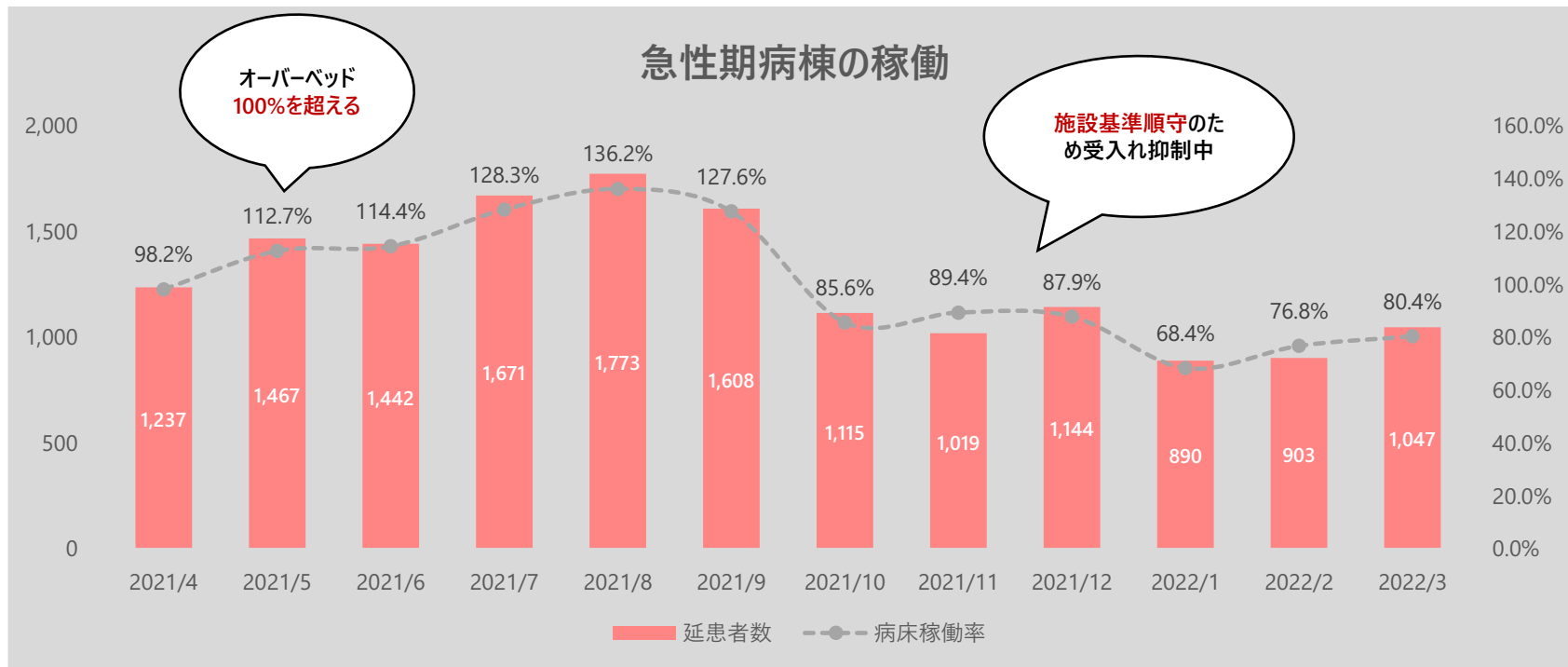
合計120床

■ = 急性期一般入院基本料

■ = 回復期リハビリテーション病棟

□ = 療養病棟入院基本料

整形外科の拡充が決定。収束の予想が経たないコロナ患者の受入れ、救急患者の受入れに支障をきたす可能性が大

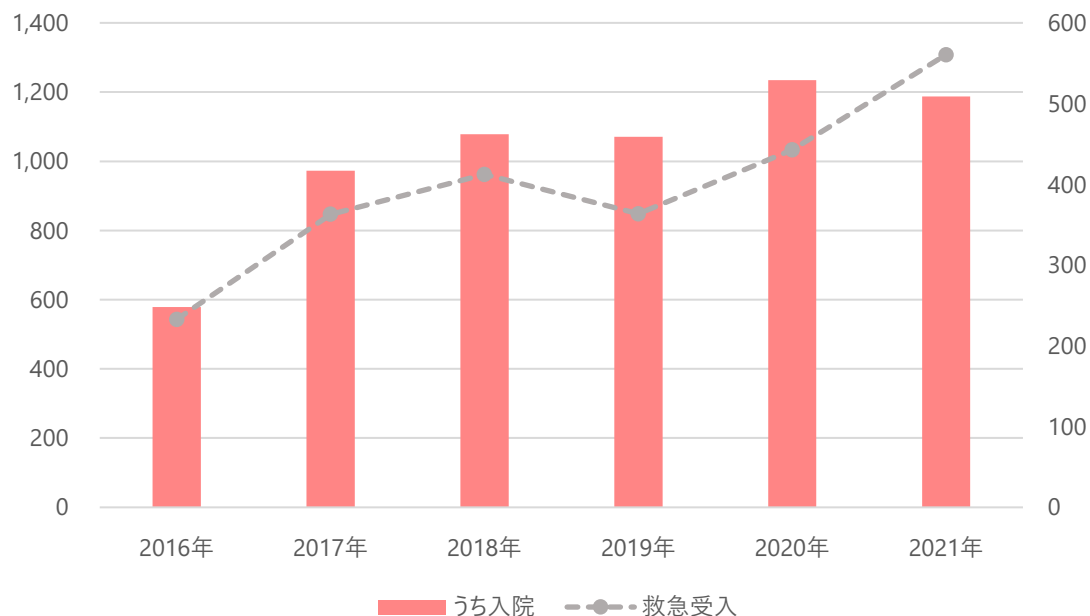


救急車受入台数

市の要請に応える形で救急受入れ台数は年々増加。マンパワー不足を補うため救命士の雇入れなど独自の対策を実施。市の救急台数の1割程度を担っている。消防の要請もあり整形外科（外傷）の設置が決定し、更に救急受入れが増えることを想定しているが、そのための急性期病床が不足する見込み。

休日、夜間救急及び日中帯の救急患者（各年4月～3月）

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
救急受入	543	847	962	848	1,033	1,308
うち入院	248	417	462	459	529	509

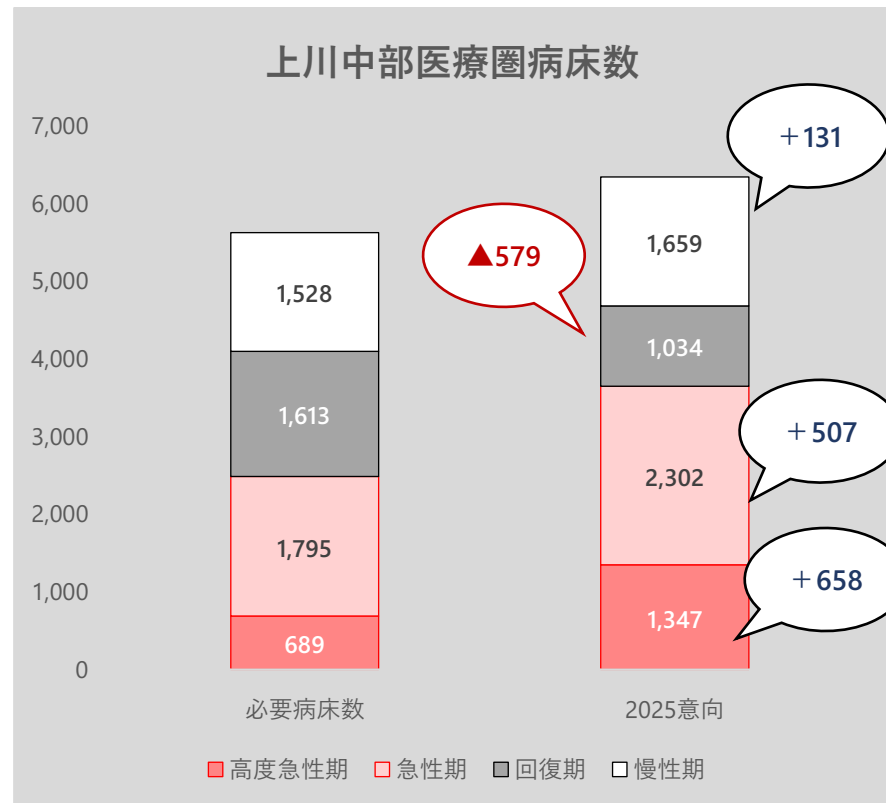


救急車受入台数は年々増加、2021年度は1,300件を突破。
マンパワーの対策も含め院内に救急救命士等の設置など対策を実施。

上川中部医療圏 必要病床数

回復期が不足している中、旭川脳神経外科循環器内科病院では2025年までに「療養病棟から回復期リハビリテーション病棟へ変更予定」という意向を示しており、慢性期▲40床⇒回復期+40床と計画していた。

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計
必要病床数	689	1,795	1,613	1,528		5,625
2020.7.1	1,347	2,321	1,053	1,699	159	6,579
2025意向調査	1,347	2,302	1,034	1,659	179	6,521
過剰数	658	507	▲579	131	179	896

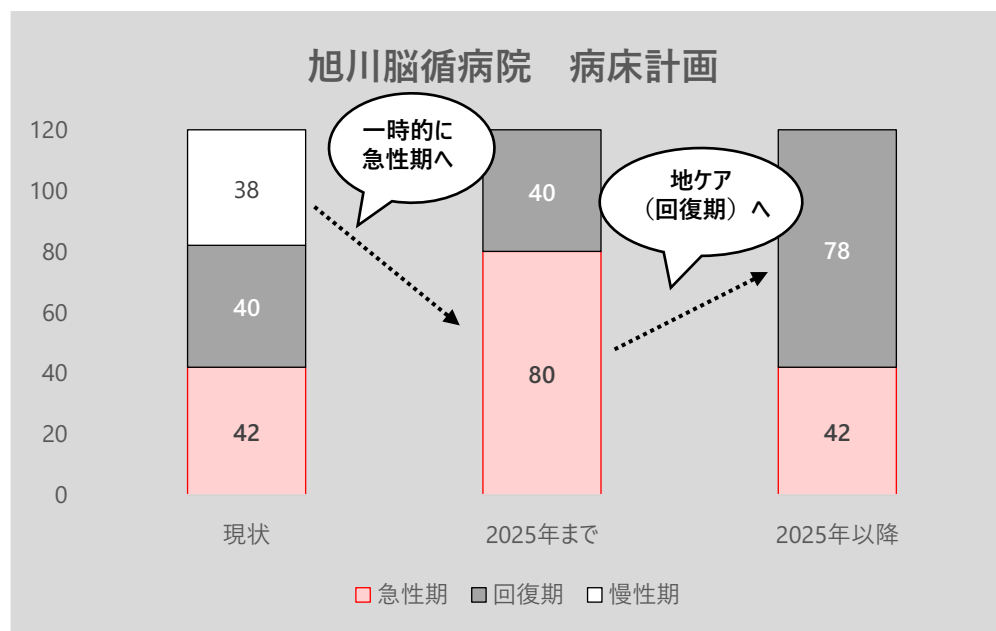


ex)別冊 上川中部区域地域医療構想
令和2年度地域医療構想推進シート

旭川脳循環 病床転換計画

2022年7月より整形外科チーム（医師5名）の配備が決定。整形外科慢性期及び急性期（外傷等）も一部運用することに決定。それに伴い看護師、コメディカルも充実するため急性期病床の拡充が可能。コロナ、救急受入れの確保も可能となる。3か年計画で在宅医療の体制・現在の回復期機能を拡大を実行し、早期に回復期への転換を図る。

コロナ患者の受入れ及びバックベッド、**救急搬送の受入れ枠の確保**
 整形外科の充実により**救急受入れ幅が大きく広がる**

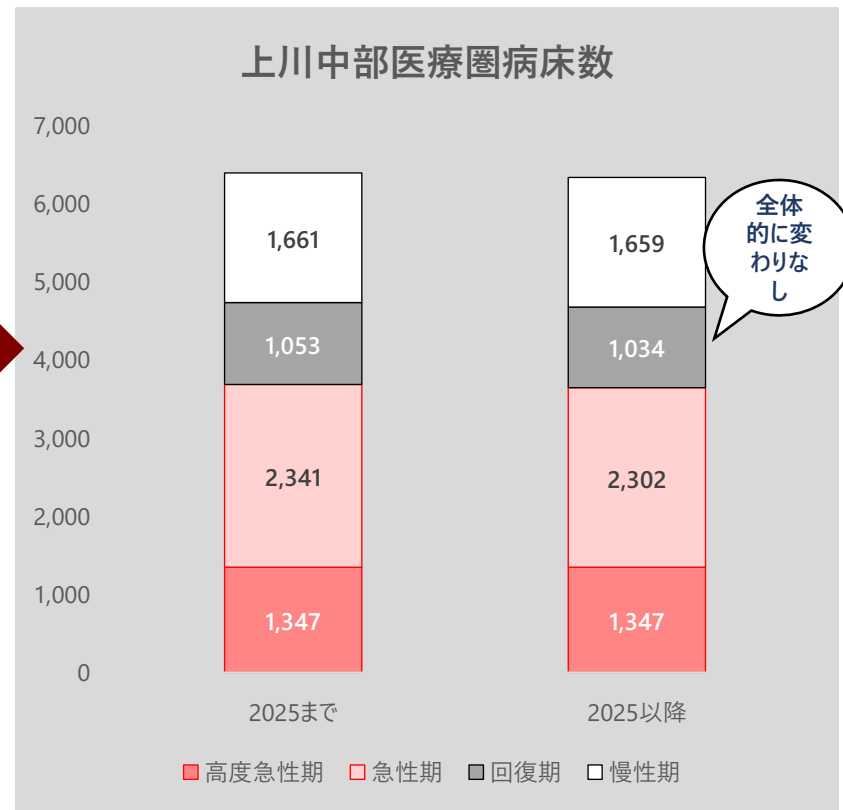
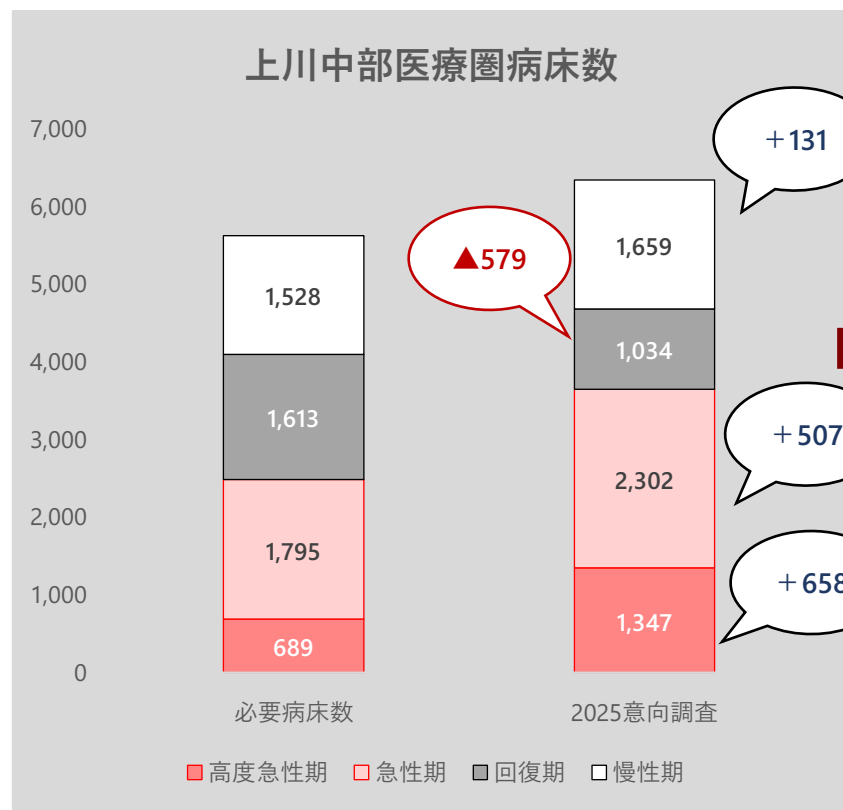


在宅（訪問診療＋訪問看護）の整備を行い、一時的に増やした急性期病床をなるべく早くに**回復期（地域包括ケア病床）へ転換**

回復期までの転換期において一時的に急性期病床は増えるが、2025年までに回復期の転換は終了する計画。結果として当初の病床機能計画と数値の変動はなし。

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計
必要病床数	689	1,795	1,613	1,528		5,625
2020.7.1	1,347	2,321	1,053	1,699	159	6,579
2025意向調査	1,347	2,302	1,034	1,659	179	6,521
過剰数	658	507	▲579	131	179	896

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計
必要病床数	689	1,795	1,613	1,528		5,625
2025まで	1,347	2,341	1,053	1,661	159	6,561
2025以降	1,347	2,302	1,034	1,659	179	6,521
過剰数	658	507	▲579	131	179	896



回復期（地域包括ケア）への転換について

まずは急性期の拡充により足元の喫緊の状況に対応し、回復期へ転換するための準備を整えたうえで将来的に転換。

当該病院が所属する上川中部医療圏では、将来的に回復期病床機能が600床弱不足となる見込みで、当院では2025年までに地域の必要数を確保するため、サブアキュートを軸にした回復期も拡充したいと考えております。将来的には今回転換した急性期病床の一部を使用し、地域包括ケア病床（回復期）の展開を目指しております。

急性期の拡充で、救急受入、整形、積極的な手術、運動器リハの充実を行うことにより、回復期のコメディカル（特に今厚労省が勧めている回復期への栄養面での強化、栄養士の参画や在宅復帰後の訪問リハ、在宅リハ）の推進準備を行うことも可能となると考えております。

当院では、急性期、救急、回復期と幅広い医療ニーズに対応し、地域医療への貢献を目指します。

旭川脳神経外科循環器内科病院 回復期（地域包括ケア）転換スケジュール

		2022年				2023年				2024年				2025年			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
計画策定	病棟再編協議																
	予算策定																
	人員配置検証																
人員採用	採用計画及び採用施策実行																
	採用																
人員整備	配置転換																
設備関連	病棟設備整備																
	医療機器・什器・備品整理及び移動																
訪問・在宅関連	訪問事業計画策定																
	採用計画及び採用施策実行																
	採用																
	訪問事業所届出																
	稼働																
病棟再編	患者選定																
	ベッドコントロール																
	施設基準実績作り																
	患者移動																
開始	病床基準届出																
	一般病棟→地域包括																

旭川脳循 病床転換計画 譲渡スキーム

事業譲渡により開設者を同一とした状態で、病床を下記の通り転換いたしたい。

